だての郷通信





発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 塗矯介護事業所 だての気が

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

#### 1月の主な行事

1月 4日(水)仕事始め

6日(金)新年を祝う会

7日(土) 土曜利用日

10日(火)~ 13日(金) ミニドライブ週間

13日(金)報奨金支給

16日(月)ジュース購入日

25日(水)誕生会

# 1月生まれの皆さん お誕生月おめでとうございます

岡崎雄一さん 誕生月おめでとうございます!

1月25日(水)に誕生会を行います。 お楽しみに。

# 電質新年







本年もどうぞよろしくお願いします 令和5年 元旦



だての郷 利用者・職員一同

#### 2023年新年のごあいさつ



#### 利用者さんのための 施設を目指して



社会福祉法人あぶくま福祉会 理事長 吉 田 修 次 郎

だての郷利用の皆さん、保護者の皆さん、あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお喜びいたします。

今年の癸卯(みずのと・う)には「これまでの努力が花開き実り始める年」の意味が込められておるようです。素晴らしい一年間となりますようお祈り申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が拡大してから間もなく4年目になろうとしていますが、一向に収まる気配が無く、現在第8波が流行中であります。ワクチン接種も昨年だけで3回行っていますが、感染症の不安は解消されていません。

これまで皆さんの努力のお陰で感染者ゼロを続けてきましたが、昨年 10 月から 11 月にかけて感染急拡大し、だての郷で 2 週間、ほどはら授産所で 1 週間施設を休業せざるを得なかったことは誠に残念で申し訳ない事と思っています。今後は、政治や行政からは経済活性化の観点から行動制限措置は敷かれないものと思いますので、これからはなお一層「自分の身体は自分で守る」の意識をもって施設運営にあたる必要があると考えております。

さて、コロナ禍の中で令和4年の施設運営は、あぶくま祭や旅行を始め各種事業が中止や 形を変えての実施となりました。今後も新しい生活様式の中での施設活動となりますが、そ の中でも少しずつ、少人数の交流活動など事業の創意工夫により活動の幅を広げてまいりた いと思います。

利用者の送迎については、だての郷ではバス送迎を解消しワゴン車による個別送迎に切り替えることが出来ました。一部ほどはら授産所の利用者はバス送迎の方はおりますが、今後も要望等を取り入れ少しずつ改善してまいりたいと思います。

施設整備面では、社会福祉充実計画による整備は完了しました。また、施設の単独事業の 車庫・倉庫の移転新築工事も完成したことから、ほどはら授産所の花卉園芸は格段と効率良 い環境で作業が出来るものと思います。

更に、両施設の空調入れ替え工事も本格的な寒さが到来する前に完了することが出来ました。施設経営では今般の物価高騰もあり厳しい状況が続くと思いますが、節減に努め何とか乗り切りたいと考えております。

また、昨年だての郷保護者会から寄せられた要望については出来ることから実施に移していきたいと思います。

施設は常に「利用者のための施設である。」ことを念頭におき、施設での生活が楽しく充実 したものとなるよう、生活や作業しやすい環境作りにこれからも職員とともに努力してまい りたいと思っております。

結びに皆様の健康とご多幸を祈念し年頭のご挨拶といたします。

### 新年を迎えて



だての郷保護者会 会長 谷 津 絹 子

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。 令和4年は、新型コロナ感染が収まらず、思うように行動できない日々が続きストレスの増す1年でした。現在は、家庭内感染に限らずいつどこでコロナに感染するかわからないので、常に緊張感を持たなければいけないと思います。各家庭はもちろんですが、施設側でも徹底したコロナ対策をお願いいたします。また、1番大事なマスク着用も利用者には難しいので、家庭だけでなく施設においても支援していただきたいと思います。

今、各地で虐待、暴力、いじめ等、人権を揺るがす問題が続出しています。コロナ禍の中、保育園や高齢者施設、障がい者施設等で職員がストレスのはけ口として、弱者の利用者に危害を加えるという事件が多発していて、その記事に触れるたびに心が痛みます。利用者の日々の生活の営みが安心、安全に守られるように、保護者、職員が一体感を持ち、だれもが尊重し合える人間関係を築いていければ問題は起きないように思いますし、たとえ起きたとしても話し合いにより解決策が見つけられます。お互いに率直に問題提示できる環境が一番大切だと思います。コロナ禍の中だからこそ、保護者と職員とのコミュニケーションを大切にしなければならないと思います。

昨年の秋に我が家の庭にある柿の木に鳩が卵を二個産みました。強風が吹いても雨に打たれてもずっと卵を温め続けて無事に巣立っていきました。親鳩の子鳩に対する深い愛情を感じる出来事でした。私も利用者が毎日楽しく安心安全に施設を利用できますように、保護者の方や職員の方と共に一致団結して全力を尽くしたいと思います。結びに、今年1年皆様にとって幸多き年になりますようにお祈り申し上げて新年のごあいさつとさせていただきます。

施設長 年頭ごあいさつ

#### 新年のごあいさつ

~うさぎが飛ぶように 飛躍・向上の1年に~



だての郷 施設長 中 木 雅 彦

新年あけましておめでとうございます。だての郷利用者の皆様をはじめ、同保護者会、 地域の皆様にとって、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ると、社会全体では新規陽性感染者数が増減を繰り返し、年末には第8 波が来て、新型コロナウイルス感染症との戦いは続き、このコロナ禍に対応した生活・行動様式が普通になりました。だての郷の行事は昨年に引き続き遠出の外出行事は中止にせざるを得ませんでした。その中で春と秋の歩こう会やジェラートのつどいが実施でき、楽しい思い出になりました。コロナ禍にあって感染拡大の波が当施設へも押し寄せ、11月中旬の2週間、臨時休業を取る事態になったことについては、多くの皆様にご心配をおかけし申し訳なく思っております。休業明けには無事施設が再開、通常運営に戻り現在に至っています。明るい話題としては、「個別送迎」も2年目に入り一部ルート拡大により、1日あたりの送迎利用者さんの人数を増やすことができました。また施設整備の面では、施設内冷暖房を担う空調設備を更新し、快適な環境で支援できるようになりました。

今年の干支は「癸卯」(みずのと・う)で、うさぎの年です。うさぎ年にちなんでだての郷の今年の目標を述べると、うさぎは野山を飛び跳ねる姿からこの年は、大きな飛躍・向上の年といわれています。厳しいコロナ禍を今年も我慢し、春の訪れとともに利用者さん一人ひとりが生き生きと施設を利用し、だての郷で楽しい日々を送れるよう、職員一丸となって皆さんの活動を支援していきたいと思っています。

新しい年を迎え、利用者さんはじめ、保護者の皆さんや施設職員の皆さん、地域の皆さんとのコミュニケーションを大事にし、多くの方がたから親しまれるだての郷、皆さんから利用したいと言われるだての郷にしていくことをお誓いします。

結びに、令和5年が皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。本年もどうぞよろしくお願いします。

# 空調設備工事完了引き渡し受ける



齋藤電建㈱の菅原さんから報告書類を受け取る吉田理事長(写真 右)

12月1日、だての郷空調工 事完了に伴う工事完了引き渡し 式をほどはら授産所で行いまし た。

当日は、工事業者である齋藤 電建株式会社代表取締役社長斎 藤和夫氏の代理 菅原重樹氏が 関係書類を持参し、工事完了の 報告を吉田理事長に行い、関係 書類を手渡しました。

空調機器の老朽化により、冷暖房効果がなくなったことによる機械更新で、快適な環境で過ごすことができるようになるも

のと思われます。この工事は、環境省令和3年度補正予算省エネルギー投資促進支援事業費補助金の交付を受けて行いました。

## 両施設で5回目のワクチン接種行う



両施設の利用者さん33人が接種を受けました



今野先生の問診を受ける利用者さんと保護者さん

12月21日、伊達市新型コロナ 感染対策課のご高配により、ほどは ら授産所とだての郷利用者さんへ の第5回目のコロナワクチン接種 を受けることができました。

当日は、前回同様だての郷を会場に、梁川病院の今野院長先生に来ていただき接種を行いました。5回目の接種ということもあって接種が始まってからはスムーズに行うことができました。

現在県内で新型コロナ感染者が 高止まり傾向で、第8波の感染者拡 大の中にあり、毎日3,000人台 になっています。皆様には引き続き 感染予防に努められますよう、お願 い申し上げます。

# クリスマス会

# 楽しくつどう!

メリークリスマス!12月23日、だての郷でクリスマス会を開きました。

クリスマスソングが流れる中、はじめに八巻研二さんが開会のあいさつ、つづいて中木施設長からクリスマスの由来やサンタクロースがプレゼントを持ってくるようになったお話しがありました。サンタさんがだての郷に来るまでの時間に、ピンポン玉送りゲームをレインボー班とクローバー班に分かれて行いました。3回行い、三回目は同時ゴールで引き分けとなりました。みんなで盛り上がりました。ゲームの後、サンタクロースが登場、トナカイの先導で会場を一回りして利用者さんにごあいさつをして、大きな袋からを利用者さん一人ひとりにクリスマスプレゼントが渡されました。そして、みんなでおいしくケーキをいただき、楽しい時間を過ごしました。



クリスマス会で美味しそうにケーキをいただく利用者さんたち (このページの写真)











盛りあがったピンポン玉送り



トナカイの先導でサンタ登場



サンタさんからプレゼントをもらう<sup>5</sup> 者さんたち





# 12 月生まれ利用者さんの誕生月を祝う!





みんなに祝ってもらった浅野恵美さん

12月22日、12月生まれの利用者さんの誕生会を開きました。

当月は、浅野恵美さんが主賓です。 みんなでハッピーバースデーのメロ ディーにあわせて手拍子で祝い、その あとチーズケーキをいただきました。 集いの中ではインタビューコーナー もあり、楽しいひとときを過ごしまし た。

### 令和4年の最終出勤日に忘年会行う!!



今年最終日を迎え、みんなでお菓子をいた だきました

令和4年最終出勤日の 12 月 28 日、だての郷利用者さんの忘年会を帰りの会の前の時間に行いました。

年末、忘年会・仕事納めにあたり、 吉田理事長から利用者さんと職員に この一年の活動への労いのあいさつ がありました。続いて利用者さん同 士、この一年を振り返っていただき、 一番の思い出は「梨狩り」となりまし た。そしてみんなでお菓子とコーヒ ーで年越しを祝いました。

### あずくき福祉会 だより 令和5年1月号

### 理事会であぶくま福祉会定款変更 などを審議 評議員会は書面会議に



議案の審議をする理事・監事の皆様

12月8日、本年第3回理事会をほどはら授産所食堂・休憩室で行いました。吉田理事長のあいさつのあと議事に入り、はじめに報告案件として、令和4年度社会福祉充実残額執行状況と事業終了報告と、理事長及び業務執行理事の職務執行状況の2件を審議。議案については、法人定款の一部改正で、ほどはら授産所旧倉庫解体と新設車庫・倉庫の取得による財産条項の一部を改正する議案で、原案どおり可決されました。席上審議前に、当法人理事八幡嘉晃

氏が長年の福祉活動の功績が認められ、県社協の「瓜生岩子賞」を受賞されたことを祝って、出席者一同拍手でお祝いをしました。

なお、法人評議員会については日程の議決を得ましたが、新型コロナ感染第8波流行期の最中であり書面評決会議とすることが承認されました。

**編集後記** 明けましておめでとうございます。だての郷通信ひびき1月号、今年も1ページ目は年賀状風にしてみました。イラストは、ほどはら授産所の岩崎真由美さんに描いていただきました。ありがとうございました。▼理事長、保護者会長さんには、年頭のごあいさつをいただきました。御礼申し上げます。利用者さんが毎日通いたくなる施設を目指し、利用して満足感が得られるよう努めていきたいと思います。▼新型コロナウイルス感染症は、第8波の流行期の中にあって感染者数が増加しています。皆さんには引き続き感染予防の手洗いうがい・マスク着用・三密回避で、身を守るようにしてください。▼真冬の季節になりました。お体ご自愛のうえ、いいお正月をお過ごしください。今年もどうぞよろしくお願いします。(M)